

7 将来の希望 (2) 一家庭復帰、結婚、自立一

もとの家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無について聞いた結果が表 42 である。

早くもとの家庭へ復帰したい児童は、全体で 37.7% (前回 38.4%) であるが、14 歳では 45.2%、15 歳では 45.8% が希望しており、その後は年齢が高くなるとともに減少している。

早く結婚して落ち着いた家庭を作りたいと答えた児童は、42.0% (前回 37.9%) であり、年齢が高くなるとともに増加している。

施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は、31.3% (前回 31.5%) となっており、特に性別による差が大きく、男子が 36.7% (前回 37.7%) に対して、女子は 25.6% (前回 25.0%) となっている。

「家庭復帰希望」「自立生活への自信」の項目に関しては、平成 4 年の調査以来減少の傾向を示している。

(「家庭復帰希望」: 47.0% → 41.9% → 38.4% → 37.7%)

(「自立生活への自信」: 36.6% → 33.5% → 31.5% → 31.3%)

※ [H4.12 調査 → H10.2 調査 → H15.2 調査 → H20.2 調査]

表 4 2 児童養護施設の年長児童の将来の希望 (家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	7,265	37.7%	42.0%	31.3%
男	3,757	36.5%	41.3%	36.7%
女	3,480	39.2%	42.7%	25.6%
14歳	199	45.2%	34.7%	28.6%
15歳	2,289	45.8%	38.8%	32.4%
16歳	1,731	37.1%	40.4%	29.6%
17歳	1,544	32.9%	44.3%	31.5%
18歳以上	1,254	28.2%	48.7%	31.3%

注) 総数には性別不詳、年齢不詳を含む。

8 友人関係

友人関係であるが、「親身になってくれるともだちがいますか」という質問に対して、「いる」という回答をした年長児童は 63.1% (前回 57.9%)、「いない」は 7.3% (前回 7.3%)、「わからない」は 27.5% (前回 27.4%) であった。

表 4 3 児童養護施設の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	7,265	63.1%	7.3%	27.5%	2.1%
男	3,757	58.3%	8.5%	30.8%	2.3%
女	3,480	68.4%	5.9%	24.0%	1.7%
14歳	199	52.3%	7.5%	37.7%	2.5%
15歳	2,289	61.6%	7.1%	29.4%	1.9%
16歳	1,731	60.4%	7.5%	29.8%	2.3%
17歳	1,544	66.5%	7.4%	24.5%	1.6%
18歳以上	1,254	67.8%	7.4%	23.1%	1.7%

注) 総数には性別不詳、年齢不詳を含む。

VII 児童自立支援施設の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答を寄せてきた年長児童数は、1,019人であった。その内男子は629人(61.7%)、女子は387人(38.0%)、性別不詳が3人(0.3%)となっている。

また、児童自立支援施設入所児童の就学状況別の年長児童数は、表44のとおりである。

表44 児童自立支援施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高校卒	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	1,019 100.0%	739 72.5%	146 14.3%	51 5.0%	31 3.0%	20 2.0%	-	8 0.8%	2 0.2%	1 0.1%	6 0.6%	13 1.3%	2 0.2%
男	629 61.7% [100.0]	468 [74.4%]	73 [11.6%]	37 [5.9%]	19 [3.0%]	13 [2.1%]	-	4 [0.6%]	-	-	5 [0.8%]	9 [1.4%]	1 [0.2%]
女	387 38.0% [100.0]	270 [69.8%]	72 [18.6%]	14 [3.6%]	12 [3.1%]	7 [1.8%]	-	4 [1.0%]	2 [0.5%]	1 [0.3%]	1 [0.3%]	4 [1.0%]	-

注) 総数には、性別不詳を含む。

総数欄の%つきの数字は、就学状況の構成割合。[]内の数字は、就学状況別構成割合。

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、児童養護施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。(質問項目については、参考を参照)

全項目中で最も多く経験しているのは「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の92.0%で、ほとんどの児童が経験しており、逆に少ないのは「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」で21.3%の児童しか経験がない。

男女間で差の大きな項目は、「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」であり、女子が男子に比べて25.5ポイント大きくなっている。

「いじめ」に関しては、「コ. 大勢で1人をいじめてしまったこと」が44.6%(前回49.6%)、「サ. いじめを受けていたこと」が43.2%(前回40.1%)であり、いずれの項目についても、女子の比率が高いという結果になっている。

また、「虐待」に関しては、「シ. 虐待を受けたこと」が全体の31.2%(前回27.7%)であり、女子が男子より16.6ポイント高い結果となっている。

表45 児童自立支援施設の年長児童の経験状況

	実数	ア. ネコの世話	イ. 人を助ける	ウ. やりとあげる	エ. 旅行	オ. 赤ちゃん	カ. ボランティア	キ. 手続き	ク. 買う	ケ. アルバイト	コ. 大勢でいじめた	サ. いじめを受けていた	シ. 虐待を受けた
総数	1,019	79.0%	74.1%	78.0%	31.8%	56.6%	61.6%	21.3%	92.0%	27.8%	44.6%	43.2%	31.2%
男	629	78.2%	72.0%	80.3%	28.5%	46.9%	60.6%	17.2%	90.9%	22.6%	40.1%	35.3%	25.0%
女	387	80.6%	77.5%	74.4%	37.5%	72.4%	63.6%	27.9%	93.8%	36.2%	51.9%	56.1%	41.6%
中3	739	80.8%	72.0%	77.9%	34.2%	55.6%	59.1%	17.2%	93.5%	21.1%	47.4%	39.9%	26.1%
中学卒業	146	76.7%	81.5%	76.7%	28.1%	59.6%	67.8%	24.0%	87.0%	43.8%	41.1%	56.2%	38.4%
高校生等	132	72.7%	78.0%	81.1%	22.7%	59.8%	69.7%	40.9%	90.2%	47.0%	33.3%	47.0%	52.3%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

(参考) 表45の全質問項目一覧表

- 「ア. 犬、ネコなどや家畜などの世話をしたこと」
- 「イ. 困っている人を助けてあげたこと」
- 「ウ. 自分で決めた事(スポーツや勉強など)をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」
- 「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」
- 「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」
- 「カ. ボランティアをしたこと」
- 「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」
- 「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」
- 「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」
- 「コ. 大勢で1人をいじめてしまったこと」
- 「サ. いじめを受けていたこと」
- 「シ. 虐待を受けたこと」

3 大切なこと

児童養護施設と同様に、大切なことと思うものについて回答してもらった(質問項目については参考を参照)。

最も選択率の高かったものは、「2. 家族で仲良く生活すること」の60.3%(前回60.3%)で、次いで「4. 友達がたくさんいること」の50.9%(前回49.3%)、「5. 健康であること」の45.1%(前回44.6%)となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「1. 勉強ができること」の7.3%(前回6.8%)で、次いで「8. 人のいやがる事をすすんでやること」の9.2%(前回9.5%)、「3. お金がたくさんあること」の20.3%(前回22.6%)となっている。

男女間で差の大きい項目は、「4. 友達がたくさんいること」で男子が女子より8.5ポイント高いのに対し、「3. お金がたくさんあること」では女子が10.7ポイント、「9. 勇気を持っていること」では女子が9.1ポイント男子より高くなっている。

表46 児童自立支援施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1. 勉強	2. 家族	3. お金	4. 友達	5. 健康	6. 特技	7. 夢	8. すすんで やる	9. 勇気	10. 仕事
総数	1,019	7.3%	60.3%	20.3%	50.9%	45.1%	20.9%	37.9%	9.2%	21.3%	22.4%
男	629	7.6%	61.2%	16.2%	54.2%	44.8%	22.9%	37.5%	9.2%	17.8%	23.8%
女	387	6.7%	58.9%	26.9%	45.7%	45.7%	17.8%	38.8%	9.3%	26.9%	19.9%
中3	739	8.3%	61.8%	20.0%	52.1%	44.8%	21.2%	37.6%	8.3%	20.7%	21.1%
中学卒業	146	4.1%	62.3%	17.8%	41.8%	43.2%	19.9%	41.1%	15.1%	23.3%	28.8%
高校生等	132	5.3%	50.0%	25.0%	55.3%	50.0%	20.5%	36.4%	8.3%	22.0%	22.7%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

(参考) 表46の質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族で仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの(特技)があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

4 高等学校(各種学校)進学希望

児童自立支援施設入所児童のうち、中学3年生の高等学校または各種学校への進学希望は、表47のとおりである。

調査の時点で進学を希望する児童の割合は77.4%(前回68.0%)、まだ考えていない児童7.2%(前回7.5%)、進学を希望していない児童は14.9%(前回23.4%)となっており、前回調査に比べ進学希望が大幅に増加している。

性別では、女子の方が、男子に比べ進学希望が5.9ポイント高い。

表47 児童自立支援施設の年長児童の高等学校(各種学校)進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
中学3年生	739	77.4%	7.2%	14.9%	0.5%
男	468	75.2%	7.5%	16.5%	0.9%
女	270	81.1%	6.7%	12.2%	-

注) 総数には、性別不詳を含む。

5 大学(短大)進学希望

中3以上の年長児童全員の大学または短期大学への進学希望は、表48のとおりである。

大学(短大)進学希望者の割合は23.5%(前回12.4%)、考えていない33.1%(前回31.7%)、希望しない41.5%(前回52.6%)となっており、前回調査より進学希望が増加している。性別では高等学校(各種学校)同様、女子の方が男子に比べ進学希望が7.1ポイント高い。

表48 児童自立支援施設の年長児童の大学(短大)進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
総数	1,019	23.5%	33.1%	41.5%	2.0%
男	629	20.8%	33.4%	43.6%	2.2%
女	387	27.9%	32.3%	38.5%	1.3%
中3	739	22.6%	34.6%	41.3%	1.5%
中学卒業	146	19.9%	37.7%	41.1%	1.4%
高校生等	132	32.6%	18.9%	43.9%	4.5%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

6 将来の希望 (1) -職業-

児童養護施設と同様に、将来やりたい職業について選択した結果が表 49 である。

男子では、「大工・建設業」19.6% (前回 27.5%)、「スポーツ・芸能・芸術」8.9% (前回 8.9%)、「飲食業」8.3% (前回 8.0%) などが上位を占めている。女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」17.1% (前回 16.9%)、「美容師・理容師」10.3% (前回 14.4%)、「飲食業・調理等」8.0% (前回 9.9%) が上位を占めている。

女子の希望で男子と異なる特徴は、「美容師・理容師」、「学校の先生や保育士・看護師など」、「商店・デパート等に勤める」の割合が高くなっており、「大工・建設業」、「運転手・パイロット等」、「工場に勤める」の割合が低くなっている。

表 49 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望 (職業)

	実数	会社や役所に勤める	工場に勤める	商店・デパートに勤める	農業 漁業 林業 酪農 等	先生 保育士 看護師 等	運転手 船乗り パイロット 等	美容師 理容師	飲食業 調理等	スポーツ・ 芸能・ 芸術	警察・ 消防・ 自衛官	大工・ 建築業	新聞記者・ アナウンサー	医者・ 弁護士	その他	未決
総数	1,019	2.6%	3.4%	3.5%	2.9%	9.4%	3.5%	6.0%	8.2%	7.9%	1.5%	12.4%	0.1%	1.3%	19.0%	16.6%
中3	739	2.3%	3.8%	3.0%	2.4%	9.7%	4.1%	6.5%	7.7%	8.0%	1.5%	14.3%	0.1%	1.4%	16.9%	17.2%
中学卒業	146	3.4%	1.4%	5.5%	5.5%	8.2%	1.4%	6.2%	11.6%	8.2%	-	6.8%	-	-	23.3%	16.4%
高校生等	132	3.8%	3.8%	4.5%	3.0%	9.1%	3.0%	3.0%	7.6%	6.8%	3.0%	7.6%	-	2.3%	26.5%	12.9%
男	629	2.5%	5.1%	2.1%	4.0%	4.8%	5.6%	3.2%	8.3%	8.9%	2.2%	19.6%	-	1.1%	13.8%	17.5%
中3	468	1.9%	5.6%	1.7%	3.0%	5.8%	6.2%	3.4%	7.5%	9.4%	2.1%	22.0%	-	0.9%	12.2%	17.5%
中学卒業	73	4.1%	1.4%	2.7%	9.6%	1.4%	2.7%	5.5%	12.3%	9.6%	-	13.7%	-	-	13.7%	20.5%
高校生等	87	4.6%	5.7%	3.4%	4.6%	2.3%	4.6%	-	9.2%	5.7%	4.6%	11.5%	-	3.4%	23.0%	13.8%
女	387	2.8%	0.8%	5.9%	1.3%	17.1%	0.3%	10.3%	8.0%	6.2%	0.3%	0.8%	0.3%	1.6%	27.6%	15.2%
中3	270	3.0%	0.7%	5.2%	1.5%	16.7%	0.4%	11.5%	8.1%	5.6%	0.4%	1.1%	0.4%	2.2%	25.2%	16.7%
中学卒業	72	2.8%	1.4%	8.3%	1.4%	15.3%	-	6.9%	9.7%	6.9%	-	-	-	-	33.3%	12.5%
高校生等	45	2.2%	-	6.7%	-	22.2%	-	8.9%	4.4%	8.9%	-	-	-	-	33.3%	11.1%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

7 将来の希望 (2) -家庭復帰、結婚、自立-

もとの家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無について聞いた結果が表 50 である。

早くもとの家庭へ復帰したい児童は 74.7% (前回 78.0%)、早く結婚して落ち着いた家庭を作りたいと答えた児童は 54.1% (前回 52.2%)、施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は 51.9% (前回 58.3%) となっている。

表 50 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望 (家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	1,019	74.7%	54.1%	51.9%
男	629	76.3%	52.0%	53.6%
女	387	72.4%	57.9%	49.1%
14歳	74	86.5%	58.1%	50.0%
15歳	623	81.5%	55.4%	53.9%
16歳	158	61.4%	48.1%	50.6%
17歳	69	46.4%	49.3%	36.2%
18歳以上	32	28.1%	53.1%	53.1%

注) 総数には性別不詳、年齢不詳を含む。

8 友人関係

友人関係について、「親身になってくれるともだちがいますか」という質問に対して、「いる」という回答をした年長児童は60.8%（前回57.2%）、「いない」は10.9%（前回11.1%）、「わからない」は27.4%（前回28.3%）であった。

表5-1 児童自立支援施設の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	1,019	60.8%	10.9%	27.4%	0.9%
男	629	58.8%	11.0%	29.6%	0.6%
女	387	64.3%	10.9%	23.8%	1.0%
14歳	74	59.5%	10.8%	29.7%	-
15歳	623	61.2%	10.3%	27.8%	0.8%
16歳	158	58.9%	12.0%	27.8%	1.3%
17歳	69	52.2%	17.4%	29.0%	1.4%
18歳以上	32	75.0%	12.5%	12.5%	-

注) 総数には性別不詳、年齢不詳を含む。